

第1章

事業の概要



趣 旨

現在、国際社会において、グローバル化が進展する中、あらゆる分野で国境を越えた協力・調整・交渉が不可欠となっており、国際社会のみならず、地域社会等においてもグローバル化対応を牽引・指導するリーダーが必要となっている。次世代グローバルリーダー事業「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」は

多様なバックグラウンドを持つ青年が参加し、国際化や多様化の進展する各分野でリーダーシップを発揮して、社会貢献を行うことができる青年を育成することに併せて国境を越えた強い人的ネットワークの構築を図ることを目指すものである。

参加国・寄港地・訪問国・使用船

1 参加国・寄港地

参加国は11か国で、これらの国から合計233名(外国参加青年112名、日本参加青年121名)の青年が参加した。

- ・オーストラリア連邦
- ・バーレーン王国
- ・チリ共和国
- ・インド
- ・メキシコ合衆国
- ・ニュージーランド
- ・ロシア連邦
- ・スリランカ民主社会主義共和国
- ・タンザニア連合共和国
- ・アラブ首長国連邦
- ・日本

訪問国は以下の2か国である。なお、()内は寄港した都市。

- ・インド(チェンナイ)
- ・スリランカ民主社会主義共和国(コロンボ)

2 使用船

シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズにおける船上研修は、商船三井客船株式会社が傭船する「にっぽん丸」を使用し、その運航も同社に委託した。



事業内容

シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズでは、日本と世界の10か国の青年が、34日間にわたる陸上、船上研修及び訪問国活動に参加し、世界的視野に

立った共通の課題に関するディスカッションやセミナーを始め、各種の研修や交流活動を行った。

1 事業の日程

事 項	期 間
日本参加青年選考試験	平成27年5月30日(土)31日(日)及び7月25日(土)
各国政府担当職員招へい会議	平成27年7月7日(火)～7月8日(水)
ファシリテーター会議	平成27年8月4日(火)～8月7日(金)
管理部設置	平成27年9月1日(火)～平成28年3月11日(金)
事前研修(日本参加青年のみ)	平成27年9月12日(土)～9月17日(木)
地方プログラム受入れ都道府県担当者会議	平成27年10月13日(火)
ナショナル・リーダー会議	平成27年10月19日(月)～10月22日(木)
日本国内活動(外国参加青年のみ)	平成28年1月16日(土)～1月19日(火)
出航前研修(日本参加青年のみ)	平成28年1月18日(月)～1月19日(火)
陸上研修	平成28年1月20日(水)～1月26日(火)
船上研修	平成28年1月27日(水)～2月29日(月)
帰国後研修(日本参加青年のみ)	平成28年2月29日(月)～3月1日(火)

2 詳細日程

	月 日		午前		午後		夜	
			(陸上) 9:15～10:30 (船上) 9:30～10:45	(陸上) 10:45～12:00 (船上) 11:00～12:15	(陸上) 14:15～15:30 (船上) 14:15～15:30	(陸上) 15:45～17:00 (船上) 15:45～17:00	(陸上) 20:00～21:00 (船上) 20:00～21:00	
1	1月14日(木)		外国参加青年来日					
2	1月15日(金)		時差調整・体調管理		オリエンテーション		歓迎会	
3	1月16日(土)		地方プログラム(ホームステイ)					
4	1月17日(日)		地方プログラム(ホームステイ)					
5	1月18日(月)		外国参加青年:地方プログラム(表敬訪問・施設訪問) 日本参加青年:出航前研修					
6	1月19日(火)		外国参加青年:地方プログラム(東京へ移動) 日本参加青年:出航前研修					アイスブレイキング
7	1月20日(水)	陸上研修	全体オリエンテーション		導入フォーラム		自主活動	
8	1月21日(木)		異文化理解セミナー(対人関係)		コース顔合わせ	レター・グループ顔合わせ (委員会決め)	委員会活動	
9	1月22日(金)		スポーツ&レクリエーション		休日			
10	1月23日(土)		都内視察					NP練習
11	1月24日(日)		リーダーシップ・セミナー		コース・ディスカッション		文化紹介活動のPR	
12	1月25日(月)		プロジェクトマネジメントセミナー		PYセミナー		NP練習	
13	1月26日(火)		課題別視察					オリエン退所説明

	月 日		午前 (陸上) 9:15 ~ 10:30 (船上) 9:30 ~ 10:45	午前 (陸上) 10:45 ~ 12:00 (船上) 11:00 ~ 12:15	午後 (陸上) 14:15 ~ 15:30 (船上) 14:15 ~ 15:30	午後 (陸上) 15:45 ~ 17:00 (船上) 15:45 ~ 17:00	夜 (陸上) 20:00 ~ 21:00 (船上) 20:00 ~ 21:00	
14	1月27日(水)		オリエン退所、国連大学訪問		横浜港へ移動	乗船	管理部オリエンテーション	
15	1月28日(木)	出港 16:00	9:00-10:30 / 10:45-11:00 / 11:15-11:45 出国手続き、船側オリエンテーション、避難訓練		13:30-15:00 / 15:00-15:30 オープンシップ、出航式	16:00 横浜出港	心理学セミナー	
16	1月29日(金)		リーダーシップ・セミナー		NP練習		NP(日本)	
17	1月30日(土)		休日					
18	1月31日(日)		コース・ディスカッション		船長講話	NP(バーレーン)	NP(ニュージーランド)	
19	2月1日(月)		文化紹介活動		委員会活動	NP(UAE)	NP(チリ)	
20	2月2日(火)		異文化理解セミナー		デlegationミーティング	NP(メキシコ)	NP(タンザニア)	
21	2月3日(水)		コース・ディスカッション		自習・補講	NP(ロシア)	NP(インド)	
22	2月4日(木)		公式写真撮影	ブリッジツアー	プロマネセミナー	NP(スリランカ)	NP(オーストラリア)	
23	2月5日(金)	入港8:00 出港18:00	シンガポール寄港(給油・給水)					
24	2月6日(土)		リーダーシップ・セミナー		PYセミナー		団長講話	
25	2月7日(日)		アドバイザー・セミナー		休日			
26	2月8日(月)		コース・ディスカッション		文化紹介活動	委員会活動	デlegationミーティング	
27	2月9日(火)	入港 15:00	訪問国活動準備		チェンナイ入港	レセプション		
28	2月10日(水)		訪問国活動(インド)					
29	2月11日(木)		訪問国活動(インド)					
30	2月12日(金)	出港 18:00	訪問国活動(インド)		チェンナイ出港	振り返り		
31	2月13日(土)		休日		訪問国活動準備			
32	2月14日(日)	入港 10:00	コロンボ入港		訪問国活動(スリランカ)			
33	2月15日(月)		訪問国活動(スリランカ)					
34	2月16日(火)		訪問国活動(スリランカ)					
35	2月17日(水)	出港 12:00	コロンボ出港		振り返り	委員会活動		
36	2月18日(木)		プロジェクトマネジメントセミナー		文化紹介活動			
37	2月19日(金)		休日					
38	2月20日(土)		コース・ディスカッション		PYセミナー			
39	2月21日(日)	入港12:00 出港22:00	公式写真撮影	シンガポール寄港(給油・給水)				
40	2月22日(月)		リーダーシップ・セミナー		エキシビション(文化紹介活動の成果発表)			
41	2月23日(火)		事後活動セッション		自主活動			
42	2月24日(水)		異文化理解セミナー (Re-entry)		事後活動セッション		デlegationミーティング	
43	2月25日(木)		プロジェクトマネジメントセミナー		サマリー・フォーラム準備			
44	2月26日(金)		リハーサル		サマリー・フォーラム			
45	2月27日(土)		評価会		修了式	下船説明	フェアウェルディナー	
46	2月28日(日)		下船準備					
47	2月29日(月)	入港 8:00	東京帰港	11:30 解散式・解散パーティー	下船	(外国参加青年は成田空港へ、 日本参加青年は帰国後研修へ)		
48	3月1日(火)		日本参加青年帰国後研修					

船上
研修帰国
後
研修

3 研修科目

研修科目	研修内容
オリエンテーション 全体オリエンテーション(1時間30分) アイスブレイキング(1時間)	管理官挨拶、アドバイザー・ナショナル・リーダー・管理部員紹介 カリキュラム説明等 参加青年同士の交流
研修科目 国際連合大学訪問(2時間30分) リーダーシップ・セミナー(10時間) 異文化理解セミナー(15時間) プロジェクトマネジメント・セミナー(8時間45分) 心理学セミナー(1時間) 都内視察(1日) 委員会活動(4時間45分) コース・ディスカッション ・導入フォーラム(2時間30分) ・全5回のセッション(12時間30分) ・サマリー・フォーラム準備・発表(7時間30分) ・課題別視察(日本、インド、スリランカ)計3回 スポーツ・レクリエーション(2時間30分) PYセミナー(7時間30分) ナショナル・プレゼンテーション(16時間45分) 事後活動セッション(5時間) フェアウェル・ディナー(1時間)	国際連合の活動等に関する講演の聴講及び質疑応答 リーダーシップに関する有識者セミナー 異文化理解に関する有識者セミナー プロジェクトマネジメントに関する有識者セミナー 心理学に関する有識者セミナー レター・グループごとの視察活動 参加青年による各種活動の企画・運営 「青年の社会貢献」をテーマとしたディスカッション 各国における青年の社会活動の現状についての発表 ファシリテーター主導のディスカッション コース・ディスカッションのまとめ・発表 各コースのテーマに沿った施設訪問 レター・グループ単位で行う運動会 参加青年が発表者となるセミナー等 参加青年による自国の文化等の紹介 既参加青年による事後活動の説明及び事業後の社会貢献 各種趣向を凝らした船内最後の夕食会
公式行事 外国参加青年歓迎パーティー 表敬訪問 オープンシップ 出航式 船側オリエンテーション・避難訓練 訪問国活動(インド、スリランカ)(計7日間) ・訪問国活動準備(5時間) ・訪問国活動振り返り(2時間15分) 公式写真撮影 下船説明 評価会 修了式 解散式・解散パーティー	来日した外国参加青年の歓迎パーティー 参加青年の代表による首相表敬及び皇太子殿下御接見 船内見学 出航前のセレモニー 船側施設の説明、船内非常時を想定した避難訓練 各種施設の視察、現地の青年や関係者との交流 訪問国活動における事前準備 訪問国活動での学び・気付きの共有 報告書用の写真撮影 下船手続きの説明 事業評価用のアンケート記入等 修了証書の授与等 解散式、送別パーティー
その他 外国参加青年地方プログラム 日本参加青年出航前研修及び帰国後研修 デリゲーション・ミーティング レター・グループ活動 自主活動	表敬訪問、各種施設の視察、ホームステイ 日本参加青年のみの研修 各国ごとの活動 レター・グループごとの活動(原則、毎日30分) 参加青年が自由に企画する活動

訪問国活動での科目を除く

研修合計：約206時間15分

組織

シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズは、
団長・管理官・副管理官・管理部員等（管理部）、アドバイザー並びにナショナル・リーダーと参加青年をもつ

て組織した。また、本事業を円滑に実施するために、ナショナル・リーダー会議を実施した。

1 管理官、管理部員

管理官 上村 秀紀 内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付参事官（青年国際交流担当）
副管理官 押切 哲夫 内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付参事官（青年国際交流担当）付参事官補佐（青年交流第2担当）
管理部員等 23名

《任務》 管理官は、本事業の実施に関し日本政府を代表し、本事業の実施に係る事務を統括する。
副管理官は、管理官を補佐し、管理官に事故があるときは、その職務を代行する。
管理部員は、管理官の命を受けて、本事業に係る事務を処理する。

2 団長

団長 須江 雅彦 総務省統計情報戦略推進官
《任務》 団長は、参加青年で構成される団を代表し、儀礼等に当たるとともに、研修全般について助言する。

3 アドバイザー

アドバイザー 榎本 英剛 よく生きる研究所代表
マイク・H・マツノ カリフォルニア州立大学モンテレーベイ校国際協力コンサルタント
岡田 尚美 (一財)国際開発機構専務理事
平井 康仁 東京都職員共済組合事業部健康増進課産業医 健康管理医
《任務》 アドバイザーは、事業の趣旨・目的に沿って、参加青年の教育及び指導を行う。

4 参加青年

参加青年は、参加国団、レター・グループ、委員会、コース・ディスカッションの四つのグループに所属し、陸上及び船上研修で各種活動を行った。

参加国団

各参加国団のうち、それぞれ1名をナショナル・リーダー（National Leader: NL）とし、日本については、加えて1名をサブ・ナショナル・リーダー（Sub-National Leader: SNL）とした。また、各国について、参加青年のうち、2名をアシスタント・ナショナル・リーダー（Assistant National Leader: ANL）とした。

《任務》

- NLは自国を代表するとともに、自国の代表団を統率し、かつ、NL会議を構成する。NL会議は、管理官からの依頼に従い、事業期間中における生活、活動の基本的事項について協議し、決定する。SNLは、NLを助け、上記の役割を担う。
- ANLは、NL及びSNLを補佐し、NL及びSNLに事故があるときは、その役割を代行する。

レター・グループ

陸上及び船上研修における活動の基礎単位として、参加青年は11のグループに組織された。各グループは約20名の参加青年から成り、各グループを組織する際には、国籍、年齢、職業等に偏りのないよう考慮した。各グループには、NLが1名ずつグループ・リーダー（Group Leader: GL）として配置され、さらに、参加青年の中からアシスタント・グループ・リーダー（Assistant Group Leader: AGL）3名（うち日本参加青年2名、外国参加青年1名）を置く構成とした。

《任務》

- GL
 - ア グループの参加青年を統率する。
 - イ 陸上・船上研修及び訪問国活動において、グループをまとめる。

ウ ほかのグループとの連絡・調整に当たる。

- AGL
 - ア GLを助け、GLが欠けた場合には、GLに代わってグループの参加青年を統率する。
 - イ 陸上・船上研修及び訪問国活動での諸活動において、GLを助け、必要な職務を分担する。
 - ウ グループ内の参加青年の連絡・調整に当たる。他のグループとの連絡を密接にする。
 - エ グループ内の健康管理について管理部看護師の補助など、参加青年の生活環境全般についてもサポートする。

委員会

参加青年の交流を図り、相互の友好と理解を促進することを目的とする様々な行事・活動を企画、実施するために必要な業務及び管理部との連絡を行うため、九つの委員会が組織された。

- AGL(アシスタント・グループ・リーダー)委員会
- コース・ディスカッション運営委員会
- 異文化理解セミナー委員会
- リーダーシップ・セミナー委員会
- プロジェクトマネジメント・セミナー委員会
- PYセミナー委員会
- ナショナル・プレゼンテーション委員会
- イベント委員会
- 文化紹介活動(クラブ)委員会

コース・ディスカッション

コース・ディスカッションは、「青年の社会貢献」を共通テーマとし、世界的視野に立った共通の課題に関するディスカッションを六つのテーマに分かれて実施した。

- 地域づくりコース
- 防災コース
- 教育コース
- 環境コース
- 情報・メディアコース
- 青年起業コース

5 ナショナル・リーダー会議(グループ・リーダー会議)

NL会議は、参加各国のNLで構成された。

NL会議は、以下の機能を有し、本事業を円滑に実施するため、公式・非公式に会議を開いた。

- 管理部からの依頼により、プログラム参加に当たっての参加青年に関する生活面の決まり事やプログラム実施の内容を協議し決定する。
- 日程などを含めプログラムに関し、NL間の情報交換の場とする。

- 委員会において、各委員会で決定がなされた全体に関わる内容や運営方法について報告を受ける。各委員会の決定した内容や運営方法について特段の意見がある場合は、NL会議で協議することができる。NL会議でまとめられた意見は尊重され、各委員会に伝えられる。各委員会はその意見を尊重しつつ再決定を行う。